

平成23年度指定管理運営業務評価票

| | | | |
|-------------|--------------------|---------------------------|---------------------------|
| 施設名称：府立体育会館 | 指定管理者：南海ビルサービス株式会社 | 指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日 | 所管課：大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課 |
|-------------|--------------------|---------------------------|---------------------------|

| 評価項目 | | 評価基準(内容) | 自己評価(指定管理者) | 評価 S~C | 施設管理者の評価(所管課) | 評価 S~C | 評価委員会の指摘・提言 | |
|-----------------|----------------------------|--------------------------|---|---|--|--|----------------------------|---------------------------------|
| I 提案の履行状況に関する項目 | 平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策 | (1)施設の設置目的及び管理運営方針 | ①施設の設置目的に沿った運営 ②提案した管理運営方針に沿った管理 ③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み | A | ①大阪府立体育会館条例の中にもある大阪府立体育会館の設置目的通り、「体育及びスポーツの振興を図り、併せて文化的な集會及び催物の提供」を積極的に行っている。(参加者1,000人以上のH23年度新規スポーツイベント10件、文化的な催物7件) ②人権研修、個人情報保護研修等の実施。不参加者への周知も実施。 ③障がい者の積極的な雇用・支援等の社会貢献活動、清掃ボランティア等の環境活動が認められる。 消防法及び駐車場法に基づく届出遅れあり。 | A | ③法令に基づく各種届出について、迅速に対応されたい。 | |
| | | (2)平等な利用を図るための具体的手法・効果 | ①公平なサービス提供、対応状況 ②高齢者、障がい者等に対する配慮 | A | ①年間利用計画の策定実施。 ②人権研修、障がい者研修には、職員が積極的に参加し、参加者から全従業員に周知を図り、実際の運営に活かしている。 また、障がい者研修は、車いす体験を実際に体育館内で行うことで、より実態に応じた対応ができるようにしている。 | A | | |
| | | (3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | ①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み [指標] ・利用者数 | ①企業説明会等を体育会館で行った場合に顔つなぎをし、実際に館内を見てもらうことで営業を行い、大人数の利用者が見込まれるイベントを誘致した。 (参加者1,000人以上のH23年度新規イベント17件) 事業計画書にある平成23年度利用者数見込:781,980人 ⇒平成23年4月～平成24年3月で811,000人を見込んでいる。 ②H23.4.11にHPをリニューアルし、専用利用の空き状況を閲覧できるようにした。 フリーペーパー「NATTS(南海電鉄)」を南海沿線等駅に配架。22万部発行/月1回 H24.3月に正面入り口に看板広告を設置予定。 | A | ①大人数(参加者)1,000人以上の利用者の新規イベント17件 利用者数、施設稼働率の増加 利用者数 H21:740,050人、H22:645,488人(大相撲中止のため減) H23:811,000人(見込) ⇒ H18年度以降最高 施設稼働率 第1競技場 H22:75.8% ⇒ H23:84.9%(見込) 第2競技場 H22:80.6% ⇒ H23:83.6%(見込) ②広報・情報発信について、提案のあった内容について実施。 また、取材を受けた場合、積極的に協力している。 | S | |
| | 施設の効用を最大限発揮するための方策 | (4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果 | ①提案のあったサービス向上策の取組み ②自主事業の取組み ③施設設備、機能の活用 | ①開館時間の延長や休日開館を実施し、利用者のニーズに柔軟に対応している。 開館時間の延長:147件(H24.2.3月予定込)、休日開館:7日間 防災研修等スタッフの教育を実施。救命救急研修実施予定(H24.3予定) ②提案したすべての自主事業を開催している。 (10教室、H23.4～12実績:参加者延べ4,084人、受講料5,671千円) ③施設設備、機能を十分に活用出来るように事務所、設備、警備、清掃スタッフにより月一回の館内外巡視点検を行なっている。また、スポーツ用具等1日1回の目視点検をしている。 | A | ①利用者からの要望が多い「開館時間の延長」に、柔軟に対応イベント前日夜からの準備等に対応し、大規模イベントを受け入れやすくしている。 ②提案のあったスポーツ教室の実施。 参加人数:対前年同期比17.6%減、受講料:対前年比24%減 ③点検の結果により、設備機器及びスポーツ用具での事故は起こっていない。 | A | ②スポーツ教室の利用者数増加に向けて、さらなる努力を期待する。 |
| | | (5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度 | ①施設設備の効果的な維持管理 ②施設設備の安全管理 ③緊急時の危機管理体制 | ①効果的な維持管理を行なうため、設備点検年間予定表を作成し、維持管理を行なっている。 ②利用者の安全を図るために、スポーツ用具等も日常点検を実施している。 ③危機管理マニュアルの策定、救命救急講習会の実施予定(H24.3予定) | A | ①設備点検年間予定表を作成し、順次点検・維持管理を行っている。 基本修繕費8,000千円を計画通り実施中。 ②1日1回の目視による点検で、スポーツ用具等での事故は起こっていない。 点検記録簿なし。 ③危機管理マニュアル策定。スタッフへの研修も実施予定。 | A | ②日常点検記録簿を作成し施設設備の管理強化を徹底されたい。 |
| | | (6)収入確保策の実施 | ①広告収入等の収入確保策の取組み ②提案どおり実施されているか。 | ①季刊誌広告掲載収入は3社300,000円、行事予定表広告掲載収入は3社150,000円 ② 収入4月～12月236,524,156円(対プロポ70%)、H23年度見込346,870,000円(対プロポ103%) 支出4月～12月154,228,393円(対プロポ73%)、H23年度見込219,870,000円(対プロポ104%) ・納付金127,000,000円 | A | ①②H23年度収入・支出見込みは、プロポ提案から微増 納付金はプロポ同額127,000千円の見込み。 | A | |
| | その他管理に際して必要な事項 | (7)府施策との整合 | ①府、公益事業協力等の取組み ②行政の福祉化の取組み ③府民・NPOとの協働の取組み ④環境問題への取組み | ①人権研修等の実施済。参加者から全スタッフに周知。 ②(株)南海ハートフルサービスから知的障がい者を清掃作業員6名受入。 ③南海電鉄が推進する文化振興事業「Harmonia-ハルモニア-南海」のスポーツ振興事業と協働。南海沿線の中学校で社会人ハレ-ボール選手が男子ハレ-ボール部員を直接指導。 ④グループ会社全体で「エコモーションなんかい」実施 ESCO事業を進め、また、契約電力を見直した。(1,150kw → 1,000kw) | A | ①人権研修等の実施。全スタッフへの周知。 ②知的障がい者の維持すべき雇用体制2名のところ、6名の知的障がい者を雇用している。 ③沿線地域の男子バレーボール部の活性化につながっている。(スポーツ振興事業主催の男子バレーボール大会参加校H22年度12校→H23年度16校) ④グループ会社と共に「環境負荷軽減施策」実施。 契約電力を見直し、省エネに貢献。 | A | |
| I 総括 | | | | A | | A | | |

| | | | |
|-------------|--------------------|---------------------------|---------------------------|
| 施設名称：府立体育会館 | 指定管理者：南海ビルサービス株式会社 | 指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日 | 所管課：大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課 |
|-------------|--------------------|---------------------------|---------------------------|

| 評価項目 | 評価基準(内容) | 自己評価(指定管理者) | 評価 S~C | 施設管理者の評価(所管課) | 評価 S~C | 評価委員会の指摘・提言 | |
|----------------------------|-----------------------|--|---|---------------|--|-------------|--------------------------------|
| II さらなるサービス向上に関する事項 | (1)利用者満足度調査等 | ①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック(PDCA) | ①HP等で利用者から意見を頂くように調整中。 ②昨年、府で実施した満足度調査の結果を受けて、施設の情報提供を充実するため、体育会館HPをH23.4.1リニューアル。また、施設利用時間帯等について、休館日の開館や利用時間の延長など、利用者のニーズを聞き取りながら柔軟に対応。 | B | ①利用者満足度の調査はできていない。 ②昨年度満足度調査の結果を踏まえ、情報提供の充実や利用者のニーズに対して適切に対応している。 | B | |
| | (2)自主事業 | ①さらなるサービス向上の取組み [指標] ・利用者数、収支状況 | ①各教室の講師と綿密な打合せを行い、既存の各教室の充実を図った。来年度からは文化系教室の開催を視野にいれて調整を行っている。 | B | ①提案のあったスポーツ教室の実施。 参加人数：対前年同期比17.6%減、受講料：対前年比24%減 バレーボール教室参加の生徒さんでチーム結成し、大会に参加するなど、生徒さん同士での交流も増えている。 | B | |
| | (3)その他創意工夫 | ①その他創意工夫の取組み | ①大阪府個人情報保護条例の適切な運用を行なうとともに、全ての職員に対して、守秘義務や個人情報保護の重要性を理解させ、適正に業務を執行するために定期的に研修を実施している(研修：年1回、テスト有) | A | ①全職員に対して研修を行っており、現在、個人情報の漏えい事例はない。しかし、創意工夫の取組みとまでは言えない。 | B | |
| II 総括 | | | | | B | B | |
| III 適正な運営を遂げるための業務基盤の盤き | (1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度 | ①事業収支計画、事業収支実績状況 [指標] ・収支計算書 | ①事業収支については当初の予定どおり推移している。 H23年度 収入：プロポ337,460千円→見込額346,870千円(対プロポ103%) 支出プロポ210,460千円→見込額219,870千円(対プロポ104%) 納付金127,000千円納付可能 H22年度 収入：321,373,144円、支出229,508,587円 | A | ①収入・支出ともにプロポから微増。 H22年度から収入8%増、支出4%減 納付金127,000千円納付可能 | A | |
| | (2)安定的な運営が可能となる人的能力 | ①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制 | ①職員体制H23実績 正社員5名、嘱託社員6名、臨時職員2名、外注19名 職員配置管理事務所9名(内本社部門2名)、設備担当7名、清掃担当7名、警備担当9名を配置。 ②支配人を体育会館に常駐。経理部門、事業部門、維持管理部門全体を把握させ各部門の業務の調整を行なっている。(毎日1回スタッフミーティングを実施) ③各種研修実施 | A | ①職員について、事業計画より臨時職員を4名減らし、正社員1名、嘱託社員3名増員し体制強化を図っている。また、外注も事業計画より2名増員。 ②毎日1回スタッフミーティングを実施。お客様からの要望、施設の維持、イベント等について、情報の共有を行っている。 ③各種研修については、計画通り実施。今後は業務マニュアルを策定し、業務内容を明確にするとともに、スタッフの交代等にも備えた取組みを期待。 | A | ③業務マニュアル等の整備により、安定的な運営に努められたい。 |
| | (3)安定的な運営が可能となる財政的基盤 | ①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況 | ①経営状況 【経営規模】 売上高 H21年度17,994,970千円、H22年度17,111,753千円 【事業規模】 ビル、駅メンテナンス、運輸サービス、リフォーム、マンション管理、指定管理者運営業務等 組織規模：10営業所(本社、支社、支店等)、従業員788名 【H22年度実績】 売上高 17,111,753千円 当期純利益 308,411千円 総資産 7,211,473千円 純資産 3,899,145千円 ②財務状況 【H22年度決算】 自己資本比率 54.07% 流動比率 151.57% 固定比率 67.05% 総資本経常利益率 7.87% | A | ①運営基盤は安定 ②自己資本比率及び固定比率が優秀であり、健全な財務状況と言える。 | A | |
| III 総括 | | | | | A | A | |